

梅雨前線に伴う豪雨における鹿野川ダム・野村ダムの効果について

平成24年7月3日、梅雨前線に伴う豪雨により鹿野川ダム流域平均総雨量90mm（時間最大31mm）、野村ダム流域平均総雨量90mm（時間最大24mm）の降雨がありました。この洪水に対して、鹿野川ダム・野村ダムではダム操作を行い、下流の肱川橋地点で約30cmの水位低下を図りました。
※数値については平成24年7月6日時点の速報値であり修正の可能性があります。

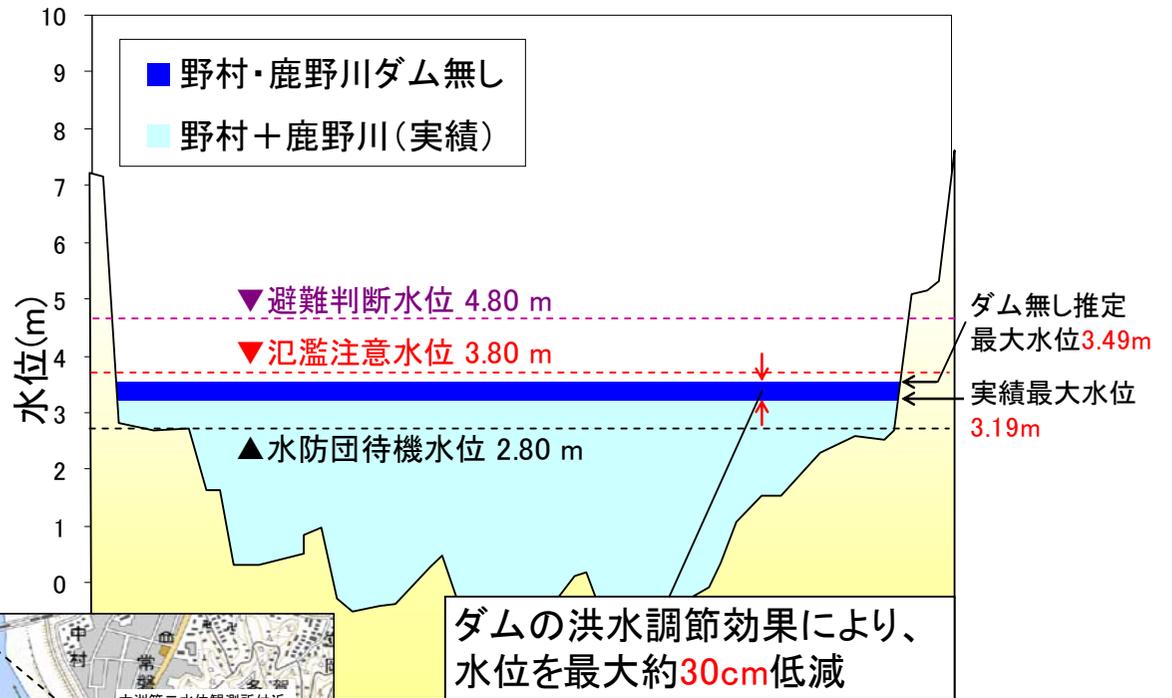
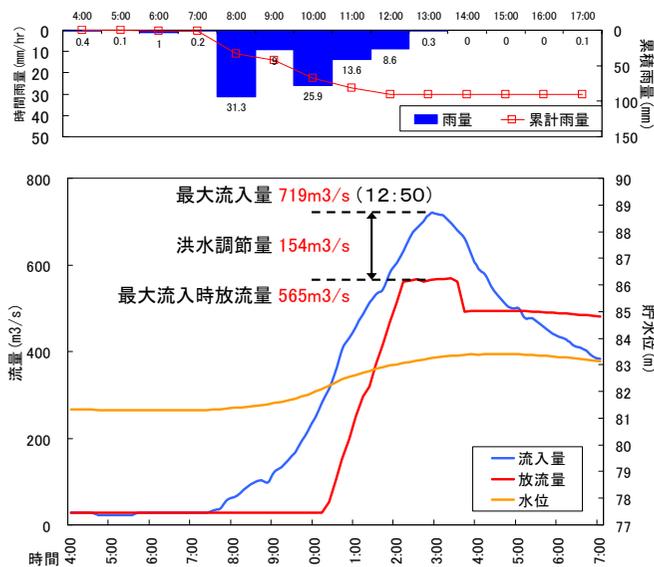
平成24年 7月 6日
国土交通省山鳥坂ダム工事事務所

問い合わせ先

(鹿野川ダム)
国土交通省 山鳥坂ダム工事事務所
事業計画課
事業計画課長／岡崎 繁則（内線331）
計画係長／有田 由高（内線332）
TEL／0893-34-2350

肱川水系 鹿野川ダム・野村ダムの効果 (平成24年7月3日 前線)

- 7月3日4時~14時、鹿野川ダム上流域で累計90mm(時間最大31mm)、野村ダム上流域で累計90mm(時間最大24mm)の降雨を記録
- 鹿野川ダムでは、7月3日12時~14時まで洪水調節を実施
最大流入量719m³/sの約2割にあたる154m³/sをダムに貯留し、洪水量を低減
- ダムの効果は、肱川橋地点の水位を最大約30cm低減と推定



肱川橋地点におけるダムの効果